

カーボン・オフセットの研究

1 内容

平成 21 年度の研究成果を踏まえ、引き続き学識経験者等で構成される委員会と 62 市区町村自治体職員で構成する委員会の 2 つの組織を設け、カーボン・オフセットの具体化に向けて調査研究をさらに進めた。

2 検討状況

下記の課題について調査研究を進め、62 市区町村のカーボン・オフセットの取組みに寄与していくことを確認した。

(1) 自治体向けのガイドブックの検討

カーボン・オフセットの基本的な考え方から実践方法を網羅するガイドブックの原稿を、検討・作成中。

(2) カーボン・オフセットのプラットフォームの検討

情報交換の場となるプラットフォームについて、必要性、機能、既存のプラットフォームとの棲み分け等を検討中。

(3) 自治体間のカーボン・オフセットのモデルの検討

カーボン・オフセットのモデル類型として 5 パターンに分類（①会議・イベント型オフセット ②庁舎等公共施設のオフセット ③クレジットの創出 ④特定者間完結型の取組み ⑤地域内の仕組みづくり）し、それぞれの実施方法、課題等の整理に取り組み中。

(4) 温室効果ガス排出量の算定に関しカーボン・オフセットによる排出削減・吸収量を計上する考え方の整理検討

今後、考え方を整理予定。

3 開催状況

(1) 検討委員会 （市区町村職員 10 名、7 回開催）

総合委員会 （学識経験者 3 名及び市区町村職員 10 名、2 回開催）